

こんな活動です

# 橘っ子は橘で育てる -礼節をわきまえ創造力豊かな子供に-

愛媛県西条市

活動名

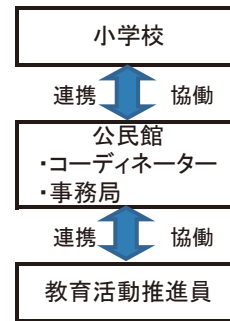
たちばな愛ちゃん教室

関係する学校名

橘小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		0人	1人	10人	66日	19年度	有	無	無
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携				
		橘公民館		無	連携型				
土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



**活動の概要・経緯**

○概要：「たちばな愛ちゃん教室」の活動は2教室。「詩吟教室」…毎週水曜日；吟詠練習 / 「公民館で遊ぼう」…日曜日（年7回程度）；ストラップやトルペイントの制作、愛媛県総合科学博物館学芸員を講師にした体験型実験。

○経緯：学校と地域との連携・協働を図り、地域の子供は地域で見守り育てるという理念のもと平成19年に発足。大人の教室しかなかった「詩吟」は、伝統文化の後継者を“橘地域”で育成したいという指導者と地域の願いのもと開始。「公民館で遊ぼう」は、小学校で読み聞かせをしていたPTAが創造力豊かな子供にと活動を発展させて開始。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- 教室指導者は全て地域住民で構成されており、“地域力”で子供たちを育てている。
- 詩吟は伝統文化の後継者育成をねらいとし、挨拶、言葉遣い、吟じる時の姿勢など礼儀を身に付けることを重んじている。講師は準師範の有資格者。
- 成果発表の場として、恒例の敬老会・文化祭などの地域イベントには必ず参加して詩吟を披露し、地域の貴重な宝となっている。例年チャレンジの場として参加している詩吟総連盟主催の全国優勝者決定大会では入賞、県下の吟詠剣詩舞大会では合吟の部で優勝、独吟の部でも準優勝、優吟賞、佳吟賞を受賞と、毎年数多くの功績を収めている。

### 【実施に当たっての工夫】

- 「公民館で遊ぼう」はイベント毎に案内チラシを作成して小学校を通じて配布。全児童対象だが、体験型実験教室は保護者の参加も可能とすることで、家族の触れ合いの貴重な機会にもなっている。
- 運営会議は、コーディネーターと教育活動推進員が参加して子供たちの安全・活動内容等について意見を出し合い、連絡を密に取るようにしている。
- 成果発表の場をもち、地域への周知を図るため、「詩吟」は郷土の先人顕彰、校区文化祭、敬老会で披露、「公民館で遊ぼう」は作品を校区文化祭に出展することにより創作意欲の向上につなげている。
- 地域の子供の成長を地域住民全体で感じ取れるよう、活動の様子を公民館だより「たちばな」に掲載することで地域の関心が高まっている。



敬老会での吟詠発表  
(詩吟)

## ● 事業を実施しての効果・成果

- 幅広い年齢層と触れ合うことで、学校・家庭とは異なる協調性や、年長者を敬い、年少者をいたわるという優しさが芽生えてきている。自ら進んで挨拶をするなど、積極性が身に付いてきた。
- 学校からは「有意義な経験が自信にもつながっており、学校行事での代表に積極的に手を挙げる、大きな声で歌を歌う、大きな声で挨拶をするなど効果が顕著である。」との評価をいただいている。
- 保護者からは、人前で発表することにより「物怖じしなくなった」、「腹の底から声を出すことで風邪をひかなくなった」と喜びの声が寄せられた。
- 指導者からは「大会の度にたくましくなっていく」との感想。着実に強靱な心身が養われている。



父の日のプレゼント作り  
(公民館で遊ぼう)

## ● その他

詩吟についてはここ2,3年低学年の入会者が少なく後継者問題が課題。伝統文化ではあるものの、時代に応じた育成方法が必要なかもしれない。